

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	遠山霜月祭りへの補助	会計	一般会計	事業No.	760	施策順No.	63-001
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-5-3-10-3		
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり			課等名	生涯学習・スポーツ課		
施策	63 地域資産の保存継承			事業期間	開始	17	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	遠山の霜月祭(上村・南信濃)						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		保存会数(箇所)	8	8	8	8	8	
	意図	技術向上および後継者育成を図る						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	研修会および振興のための事業数(回)	143	147	162	150	143	150	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	後継者難のため南信濃の大町・上島で活動が休止となる等活動実績は前年比較では減となったが、南信濃でもDVD記録撮影が行われるなど活発な伝承活動が行われた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	指定文化財の保護ために行う事業。指定文化財の保護事業のうち、飯田市文化財保護条例の規定による指定文化財の保護のために行う事業について、飯田市文化財保護事業補助金交付要綱に基づき補助する事業である。遠山の霜月祭(上村・南信濃)に対し、技術向上および後継者育成を図る目的で行われる(国重要無形文化財)保存伝承活動について、補助金を交付する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 遠山の霜月祭という郷土芸能保存伝承のための活動支援および後継者育成支援 (1) 上村地区(4地区) (2) 南信濃地区(3地区保存会・遠山保存会) 2 補助金の交付 (1) 上村地区(4地区) (2) 南信濃地区(3地区保存会・遠山保存会)	1 活動回数 2 補助金額	1 (1) 78回 (2) 65回 2 (1) 280千円 (2) 280千円
23年度実施計画	1 遠山の霜月祭という郷土芸能保存伝承のための活動支援および後継者育成支援 (1) 上村地区(4地区) (2) 南信濃地区(3地区保存会・遠山保存会) 2 補助金の交付 (1) 上村地区(4地区) (2) 南信濃地区(3地区保存会・遠山保存会)	1 活動回数 2 補助金額	1 (1) 75回 (2) 75回 2 (1) 280千円 (2) 280千円

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		560	560	560		
計(A)		560	560	560		
正規職員所要時間			50			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			179			
トータルコスト A+B			739			

4 事業に対する市民や議会の意見

- ・地元の保存会が積極的に保存伝承活動を展開するとともに、小・中学校でも授業に取り入れるなど、伝承活動に取り組んでおり、その活動費の助成が求められている。
- ・議会において、合併後も新飯田市の財産と位置付け、積極的な活用と支援を求められている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域資産が保存・継承される	施策の成果指標又はムトス指標	①保存・継承されている地域資産の数(累計) 支援の数(ムトス)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	地域にある文化遺産の大切さが理解され、後継者が育成されて民俗芸能が伝承され、地域資産が保存・継承された。また、こうした住民全体の取り組みにより文化財の存在価値が上がり、全国に誇れる資産として情報発信された。		
	後期に向けた課題	特になし。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	定期の監査の際に、より効果的に支援ができるよう保存団体との意見交換を行っている。		
	後期に向けた課題	自治振興センター・公民館などと協働し、小中学生への指導等後継者育成を強化する。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	市文化財保護事業補助金交付要項に基づき交付を行うもので、コストの削減は困難である。		
	後期に向けた課題	特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	国の重要無形民俗文化財であり、市民の共有財産としての文化財の保護・伝承について、市が関与すべきである。市文化財保護事業補助金交付要項に基づいており、関与の程度は適切である。		
	後期に向けた課題	小・中学生の活動を将来の後継者育成につなげるシステムづくりが必要である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①主体は保存伝承活動に住民全体で取り組む地域保存会であり、それぞれが伝承及び保護(公演・記録映像—DVD作成)、後継者育成(小中学生への指導)を行っている。 ②市は補助金交付要項に基づく支援を行い活動の継続を図るとともに、情報発信に取り組んでいる。		
	後期に向けた課題	小・中学生の活動を将来の後継者育成につなげるシステムづくりが必要である。		
全体を通じて	4年間の振り返り	近年、各機関の情報発信により祭りへの関心は高まってきたといえる。しかし関心の高まりと反比例して伝承者の高齢化、後継者の児童の少子化という問題が出てきている。		
	後期に向けた課題	高齢化のため祭りが休止状態にある地区があり、これまでの支援のあり方を見直す必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------